

学級経営力向上 ハンドブック



すべての児童生徒の『居場所』と『絆』が
ある学級づくりのために



平成30年3月
大分県教育委員会

このハンドブックについて

この「学級経営力向上ハンドブック」は、若手の先生方や日頃、学級経営に悩んでいる学級担任の先生方に向けて、教師と児童生徒あるいは児童生徒同士の良好な人間関係を築きつつ、すべての児童生徒の「居場所」と「絆」がある学級づくりのために作成したものです。

学級経営に行き詰まったり、問題が起きたりすることはよくあることです。またいじめ・不登校はどのクラスにも必ず起こり得るという意識をもつことが大切です。その際に慌てずに、どのように対処すればよいかはもちろんですが、「学級の雰囲気をよくしたい」「児童生徒同士をもっと仲良くさせたい」という視点からも使えるようになっていきます。学級担任以外の管理職、養護教諭、そして教育相談コーディネーター^{*1}やその他の教諭等の方も含めて、学級経営力の向上に生かしていただきたいと思います。

※1「教育相談コーディネーター」…平成30年度から全ての学校の校務分掌に位置付けられる、SC・SSW等の窓口となり、校内の児童生徒支援のコーディネートを担う役割の教員のことです。

目次



1 『未然防止』編

- (1) 学級づくりのスタートは、具体的に何をすればよいですか？
- (2) 児童生徒の「居場所」と「絆」を、どのようにつくればよいのですか？
- (3) 学級の雰囲気を良くするためには、どのようにすればよいですか？
- (4) いじめを未然に防止するためには、どのようにすればよいですか？
- (5) 特別活動における学級活動は、具体的にどのようにすればよいですか？
- (6) 生徒指導の3機能を意識した授業づくりは、どのようにすればよいですか？

2 『初期対応』編

- (1) 保健室によく行ったり、欠席が2～3日続いたりしている児童生徒の対応は、どのようにすればよいですか？

3 『解決支援』編

- (1) いじめを訴えてきた児童生徒の支援は、どのようにすればよいですか？
- (2) 不登校が継続している児童生徒の支援は、どのようにすればよいですか？